

## ①単元名

ことわざ紙芝居を作ろう (総合・小学校5年生)

## ②単元の目標

- ・ことわざは、昔の人々が生活から考え出した知識や教訓を短く表したものであるということを理解する。(知識・技能)
- ・世界にはさまざまなことわざがあることを知り、日本と同じような内容を表していることわざがあるということを理解する。(知識・技能)
- ・興味のあることわざを調べ、自分のエピソードと関係づけたり、物語を作ったりして説明できる。(思考・判断・表現)
- ・ことわざに興味を持ち、積極的に調べようとする。(主体的に取り組む態度)

## ③単元の評価規準

ア 知識・技能	イ 思考・判断・表現	ウ 主体的に取り組む態度
①ことわざは、昔の人々が生活から考え出した知識や教訓を短く表したものであるということを理解している。	興味のあることわざを調べ、自分のエピソードと関係づけたり、物語を作ったりして説明できている。	ことわざに興味を持ち、積極的に調べようとしている。
②世界にはさまざまなことわざがあることを知り、日本と同じような内容を表していることわざがあるということを理解している。		

## ④単元について

## ・教材観

ことわざとは、古くから言い伝えられてきた、教訓または風刺の意味を含んだ短い言葉である。生活体験から来た社会常識を示すものが多く、ことわざはその機能に応じて批判的ことわざ、教訓的ことわざ、経験的ことわざ、遊戯的ことわざに分けられる。例えば、経験的ことわざとして「早起きは三文の得」などが挙げられる。日本における歴史は古く、平安時代には既にことわざがあった。日本のことわざの多くは、中国の古典や仏教の経典に由来しており、「長いものには巻かれろ」のように危険を避けるための保守的なものが多いという特徴がある。世界にもことわざはたくさんあり、西洋においては、聖書に基づくものやギリシア・ローマの古典に由来するものが多い。国によって特徴はそれぞれであり、国や民族、文化、慣習などの違いによって多様な表現がなされ

奈良教育大学国語教育専修3回生 丸本まりな

ているが、ことわざの内容は同じであることも多い。

ことわざが様々な国に存在していることやその相違点を学ぶことで、互いの文化を尊重するとともに、同じような考え方を持っているということを感じることができると考えている。

#### ・指導観

日本でよく使われることわざの意味などの、ことわざの基本的な内容については3年生で学習済みである。そのため、本単元では、様々なことわざに触れ、共感したり面白いと思ったりしたことわざを紙芝居にしてみんなに伝えるということに重きを置いている。まず、ことわざについて児童が持っている知識を出し合ったり調べたりして、ことわざについて知る。次に、世界のことわざについて調べる。世界地図を用いたり、その国の文化について紹介したりしながら、いくつかの国のことわざについて紹介する。その中で、日本でもよく使われることわざと同じ意味のものも紹介する。様々な国の文化に親しむとともに、日本と共通の意味を持つことわざがあることから、ことわざの普遍性を感じさせたい。そして、いままで学んできた様々なことわざの中から、共感できるものや気に入ったものを一つ選び、紙芝居を制作する。最後に、クラスで発表する。

#### ⑤ESDとの関連

学習を通して主に養いたいESDの視点は、多様性と相互性である。さまざまなことわざに触れ、その中から普遍的なことわざを見出すことによって、多様性と相互性を養うことができると考えている。

学習を通して主に育てたいESDの資質・能力は、システムズシンキングとコミュニケーション能力である。異なる国や文化を持っていても、その背後にある考え方は同じこともあるということに気づかせたい。また、それぞれがことわざについて調べて発表することで、コミュニケーション能力も養いたい。

育てたいESDの価値観は、互いの人権や文化の尊重である。世界のことわざについて学ぶ中で、国や文化についても紹介することによって、国際理解にもつながっていくと考えている。

SDGsでは、16の「平和と公正を全ての人に」に貢献することができる。同じ内容のことわざがあることを知る中で、世界の人々を身近に感じることができると考えている。

## ⑥学習活動の概要

全6時間

時間	主な学習活動	学習への支援	◇評価・備考
1	○知っていることわざや、ことわざに関する知識を出し合う。	・大昔からことわざは存在し、たくさんの人々の経験に基づいてわかりやすく作られているということを知る。 ・日本のことわざを復習する。	ア①
2, 3	○外国にもことわざがあることを知る。 ○外国のことわざを学び、日本のことわざと比べて似ているもの、日本にはないものなどを知る。	・ことわざは世界各国にあることから、その普遍性を理解させる。 ・2時間目は調べ学習を主な活動とし、地域、テーマ(動物、食べ物)を決めてことわざを調べる。	ア②
4	○本やインターネットなどを用いて、みんなに紹介したい理由と紹介したいことわざを一つ見つける。	・図書館を活用し、本やインターネットで、さまざまなことわざを調べ、友達と共有する。	ウ
5	○自分の選んだことわざで、紙芝居を制作する。	・実体験に基づいて制作させたり、物語を考えて制作させたりする。	
6	○制作した紙芝居を発表する。		イ

## ⑦本時について(本時3/6時間目)

## ・目標

世界には、表現は違っても日本と同じ意味のことわざがあることを理解し、住んでいる国や文化は違っても、人間の考え方は同じ部分もあることに気付く。

## ・評価基準

世界には、表現は違っても日本と同じ意味のことわざがあることを理解できている。

## ・本時の展開

主な学習活動	学習への支援	◇評価・備考
<p>1. 前回の復習をする。</p> <p>2. 世界のことわざから、日本のことわざと同じようなものがないかを考える。 (1) 世界のことわざクイズをする。(ランダムに取り上げる)</p> <p>(2) ことわざを分類する。</p>	<p>○前回の学習内容もふまえ、児童が興味や関心を持つと考えられることわざを、柴田武、谷川俊太郎、矢川淳子編著『世界ことわざ大事典』大修館書店(1995年6月10日)からいくつかピックアップしておく。(児童が知っていることわざを1時間目に記録しておく、そのことわざと同じ意味のことわざを中心に取る。)</p> <p>○グループの形にし、クイズ形式で行う。</p> <p>○世界地図で場所を示したり、食べ物や文化を紹介したりする。</p> <p>○分類の例は別紙参照</p> <p>○まずグループで自由に分類させる。 ※予想される分類</p>	
<p>ことわざを</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本にも似た意味のことわざがあるもの/日本と反対の意味のもの/日本にはないもの</li> <li>・内容(例えば、経験をもとにしたもの/教訓的なもの/それいがいのもの)に分けてみよう。</li> </ul>		ア②
<p>(3) 表現は違っても、日本と同じ意味のことわざがある理由を考える。</p> <p>3. 本時の振り返りをする。</p>	<p>○分類の一例として、日本にあるものとないもの、内容で分けさせる。(明確な線引きは難しいため、特に正解などは設けない)</p> <p>○住んでいる国や文化は違っても、人間の考え方は同じ部分も多いことを理解させる。</p>	

奈良教育大学国語教育専修3回生 丸本まりな

	<p>○ワークシートに書かせ、発表させる。</p> <p>○世界のことわざから学んだことや感じたことを感想に書かせる。</p>	
--	---	--

## ※ことわざの分類の一例

	日本にはないもの	日本と反対の意味を表すもの	日本と同じ意味のもの
教訓的なもの	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一夜寝ても、万里の長城を築く【朝鮮】(わずかの間の知り合いでも、万里の長城のように確固たる友情を結べることもある)</li> <li>・晩になるまで、その日をいい日だと思ふな【オランダ】(いいことがあっても、そのあとでまた何か悪いことがあるかもしれない、終わりまで待ってみないとわからない)</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・けんかをしなければ友達にはなれない【中国】→雨降って地固まる</li> <li>・窓に耳ありドアに目あり【ラオス】(かべに耳あり障子に目あり)</li> </ul>
経験的なもの	<ul style="list-style-type: none"> <li>・月の明るい間に糸をつむげ【ビルマ】(仕事ができるときに一生懸命やっておくべきだ)</li> <li>・パン屋へ行く方が医者へ行くよりはまし【フランス】(病気のほうが食べ物に金をかけるよりもっとお金がかかる)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大きいじゃがいもを集めるのが最高【アイルランド】⇔ちりも積もれば山となる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安いものには穴がある【スリランカ】→安物買いの銭失い</li> <li>・盗みはキュウリから虎は山羊から(インド)→うそつきはどろぼうのはじまり</li> </ul>
それ以外のもの	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワインは年寄りのおっぱいだ【スイス】(子どもにミルクが必要なように、ワインは年寄りに必要)</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・こういうリンゴの木でこういうリンゴ【ロシア】→かわずの子はかわず</li> <li>・やつれた馬にほこりがはりつく【ウズベキスタン】→弱り目にたたり目</li> </ul>